

【会議録】

主 題 平成29年度第2回つくばみらい市地域福祉計画策定委員会及び地域福祉活動
計画策定委員会

●日 時：平成30年3月23日（金）午後2時～

●場 所：つくばみらい市役所伊奈庁舎 2階会議室1・2

●出席委員：白鳥治代会長，飯泉晴夫委員，齊藤常夫委員，深谷慶仁委員，
大野美香委員，川又朋子委員，古舘千恵子委員，荒井栄司委員，
豊島美智子委員，原三津子委員，細田良政委員，中山治委員 以上12名

●欠席委員：松本譲二委員，菊地教夫委員，福島里枝委員，坂入教男副会長，
千葉優治委員，染谷礼子委員 以上6名

●事務局：保健福祉部 吉田部長，社会福祉課 関課長，成嶋課長補佐，大澤主査
社会福祉協議会 浅川事務局長，赤津事務局長補佐，松尾係長
㈱ワイズマンコンサルティング さいたま支店 山口孝紘

●傍聴人：なし

1. 開会（午後2時00分）

2. 委員長あいさつ

3. 議事

（1）「地域福祉」について

【質疑等】

なし

（2）第1次地域福祉活動計画事業実施状況について

【質疑等】

なし

（3）市民アンケートの集計状況について

【質疑等】

委員意見：質問によっては，地域的な傾向が出ることがあると思う。全項目やる必要はないが，必要なものに関しては地域別に結果を分析して頂きたい。特徴的なみらい平地区とその他はどうなのか，あと農村地帯とそうでないところ，それから私の地域にも多いのだが，買い物難民についてはどうなっているのか。そういうことについては分析をして頂きたい。

事務局：はい，わかりました。

4. その他

議長：私たち民生委員は、地域包括センターには本当にお世話になっている。しかし、今資料を見たところ、地域包括センターの人員が9名と書いてある。それで足りているのだろうか。すごく忙しくしているようなイメージがあるのだが。

事務局：地域包括センターというのは先ほど(第1次地域福祉活動計画事業実施状況についての説明で)申し上げた通り、主任ケアマネ・保健師・社会福祉士の資格を持っていないと仕事ができない。包括センターで資格保持者を何人要するかということは、人口によって決められている。線引きの数字までは頭に入っていないが、今ぎりぎりのところまで来ている。現在2名・2名・2名体制だが、もう少し人口が増えると、3名・3名・3名まで持っていける。各2名でやれる範囲のぎりぎりの人口になっているから忙しくなっている。それ以外に、日常生活支援や地域ケアということで、包括支援センターに関連している業務も、一緒に効率的よく包括的にやっている。もう少しで増える可能性はあるのだが、国からお金が出ていることもあり、そのへんの縛りがあるのが現状。

議長：包括センターが始まったのは平成18年からと記憶している。(民生委員の立場から)今まで相談できなかったこともできるし、本当に助かっているので、できたら増やしてほしいと感じていた。ありがたいと思っている。

委員意見：今日はいろいろとご報告頂いたが、次回は何を決めるのかということをお教え頂きたい。

事務局：今回アンケート速報を資料として出させて頂いた。速報値なのでまだ結果ではないのだが、この短い時間では説明できないので中身はあとで見てください。次回の会議ではこのアンケートの結果を示すとともに、その内容に向けての調査等々を事務方で行っていこうと思っている。メインは計画の策定なので、皆さまにはその過程で様々なご意見を伺っていきたく思っている。

委員意見：頂いたこの資料が基本的な計画の基礎になっていき、それをやるかやらないかということを決めていくのか。

事務局：はい。新しい計画を策定する上で、今後はどのように進めていくかといった計画の案、いわゆる骨子というものを作っていくのを目的としている。そこでいろいろなご意見を伺っていくものです。

委員意見：アンケート結果の中で、例えば13頁の“バリアフリー・ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進”という項目の中で、買い物支援という欄があるが、月に1回では少ないという課題が見えた。そういったことについても、アンケート結果をもって改善できるところは改善していくという趣旨だと理解してよいのか。

事務局 : おっしゃる通り。当然、今までの実績から課題が見えてくるので、アンケートの集計により、それに対して住民が何を望んでいるかが大体見えてくる。それに伴って今度の計画を策定するということになる。

委員意見 : 私も民生委員をやっている中で、買い物については非常に不便さを感じている。デマンドタクシーやコミュニティバス、それに関鉄のバスはあるが、本当に市民がだんだん買い物にも行けなくなってしまうと危惧している。買い物支援は75歳以上でかなりお年寄りになるので、手を引いていかないとバスにも乗れない部分があるだろうし、デマンドタクシーであれば65歳以上で、かなり健常者の方がいるので、利用される方も多いだろうと思う。月に1回では少ないということであれば、いろいろ予算を考えながら、なるべくなら増やして頂ければ嬉しい。ぜひよろしくお願ひしたい。

議長 : 車のことに関しては、地域公共交通会議のなかで検討をしているが、予算に課題もあるようです。

委員意見 : 予算が様々で、いろいろな部分でかなり難しいとは聞いている。ただ実際に利用されている方が少ないように感じる。

議長 : そうですね。これからの課題ですね。

委員意見 : 私はいろいろなボランティアをやっていて、地域包括で75歳以上の独居老人を誘い、一緒にゲームをしたりお昼を食べたりするような事業をしている。しかし同じ地域の中でも交通弱者が増え、会場まで歩いて出てくるのも大変だということで、だんだんと参加人数が減ってきている。それをどのように改善していき、地域に集めるか。こういったところに出てきてさえ下されば、皆さんとお話をして、そのぶん高揚し、いい気分で生活ができると思うので、それを長く続けていって、寝込まないような状態に持っていきたいというのがボランティアの皆さんの考えだと思う。なんとか民生委員の方々と、おうちに閉じこもっている方を把握して頂けるとありがたい。それともう1つ、身障者の介護でおうちに閉じこもっている方がかなりいる。しかし、そういう情報を知りたいと思っても、個人情報の制限がありなかなか教えてもらえない。その個人情報を持っているのも民生委員である。そういった会議があるのであれば、地域の身障者の方・独居の方がいた場合、こういう施設なり遊ぶところなり、皆さんでやってくれるところがありますよ、と声かけして頂けると、少しずつ増えていくのではないかと思う。せっかくやっても、集まる人が少なくなってくるとこちらの張り合いもなくなってしまうので、ぜひお願ひしたい。

議長 : 声かけはしているが、一步踏み出すのが難しい方もいる。そういう方に強制はできないというのが難しい部分だが、民生委員の方は努力しましょう。

委員意見 : 閉じこもりの方の個人情報については、私たち民生委員が訪問し、開拓し、その中で発見される。今までは住所から家族構成や生年月日等の情報を得ることができたが、個人情報保護法が出来てからは、全ての個人情報を自分の

ところで全部把握しているか、というとしていない。情報をいただければ喜んで飛んで行くし、訪問もする。しかし、全ての閉じこもりの方の個人情報を民生委員が持っているというわけではない。その旨はご了解いただきたい。

委員意見：個人情報についてはわかりました。しかし、私たちが個人情報について民生委員さんにお伺いした際に、「役所の方から『こういう方がいますよ』とお願いされれば私たちはいくらでも動きます」というお答えを頂いたことがある。何かで集まる機会があれば、そのことについて皆さんで話し合ってもらいたい。

議長：担当している区域でなるべく閉じこもりのないようには心がけている。おかげさまで今は“サロン”ができていますので、助かっている部分もある。

事務局：平成29年度の会議は本日が最後となる。平成30年度からは、アンケートに基づく結果・調査、地域での懇談会などを行っていく予定である。今後とも委員の皆様にはお力添え頂きたい。事務局からは以上です。

委員意見：次回の会議日程について教えて頂きたい。

事務局：事務局案では、5月に開催したいと思っている。

委員意見：年間計画はたてられないのか。

事務局：なるべく次回会議で年間スケジュールを示し、それに沿った形で実施したいと思っている。

委員意見：5月のいつ頃かだけでも決まっていないのか。

事務局：前回会議の中で、素案ではスケジュールをお出ししている。これに沿って開催したいと思っている。とりあえずは5月下旬を予定している。

5. 閉会

【配布資料】

- (1) 「地域福祉」について
- (2) 第1次地域福祉活動計画事業実施状況について
- (3) 市民アンケートの集計状況について